

社会医学

Social Medicine

単位数：2単位

- 竹下治男 教授：法医学
岩下義明 教授：救急医学
木村かおり 学内講師：法医学

1. 科目の教育方針

人類の健康に関する環境要因や法制・法科学、ならびに疾病予防の概要を教授する。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 疫学・保健統計を理解し、集団における健康課題の把握について学習する。
- 2) ライフサイクルに沿った健康課題に対して、予防対策の展開を理解する。
- 3) 保健医療制度・政策の学習により、社会と医学・医療の関係を把握する。
- 4) 医療と社会の関係を理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 医療に関連した行政の取り組みを知る。

3. 教育の方法、進め方

オムニバス形式を基本とする。

4. 成績評価の方法

講義のテーマに関するレポートの評価及びセミナーへの出席による。

5. 使用テキスト・参考文献

厚生労働統計協会編：国民衛生の動向，厚生労働統計協会

KJ Rothman: Modern Epidemiology Third Edition, Lippincott Williams & Wilkins, 2008

RB Wallance : Public Health and Preventive Medicine Fifteenth Edition,

Prentice-Hall International Inc., 2007

「標準救急医学」医学書院

現代の法医学 改訂第3版増補. 金原出版. 1998年.

臨床法医学テキスト 第2版. 中外医学社. 2012年.

臨床中毒学. 医学書院. 2013年.

6. 教育内容

- 1) 健康者も含めた人間集団全体をみることのできる研究者を育てることを教育の目的とする。そのために疫学方法論の習得と公衆衛生活動を实践する技術と知識を学習させる。
- 2) 医療の世界は患者と医療従事者だけで成立しているのではない。国、地方自治体、病院経営者、保険者、納税者など、複数の意志決定主体の存在を念頭に置いて、社会における医療の役割や制度について学ばせる。

回	授業内容	担 当
1	法医学の概念・死の判定と死因	竹下治男
2	疫学概論	竹下治男
3	救急医療の歴史・現状と問題点	岩下義明
4	保健統計概論	竹下治男
5	臨床と疫学	竹下治男
6	救急車とドクターヘリ：行政と医療	岩下義明
7	法医解剖例から考える突然死の予防	木村かおり
8	法医学における DNA 鑑定と物体検査	竹下治男
9	公衆衛生と保健医療政策	竹下治男
10	疫学的データを用いた救急医学研究	岩下義明
11	法医解剖例から考える児童・高齢者虐待	木村かおり
12	異状死体と鑑定論	竹下治男
13	医療と社会	竹下治男
14	救急医療の未来像	岩下義明
15	薬毒物中毒について	木村かおり